

令和4年8月26日(金)

あさひの日だまり

NO.17

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～自律した児童の姿を求めて～

満足感と充実感を感じてほしいと願って

先生方と、辰野東小学校の子どもたちが卒業の時までにどんな姿に成長してほしいかということについて、ここしばらくの間話をしてきました。子どもたちの成長は、一朝一夕で変化が見られるものではありません。いろいろな経験を積んで、少しずつ自信を深め、ある時、スッと変化が現れるものです。そんなときは、「あれっ、この子こんなことができるようになっていたんだ」と、周りの大人も驚かされるものです。

そういった子どもの成長を促すためには、「この子にはこんな姿に成長して欲しいな」という思いを、職員が共有していく必要があります。先生方によって、子どもにかけられる言葉は当然違いますが、「あなたにはこんな姿に成長してほしいんだよ」という願いは共有されていなくてはいけないと思っています。私たちが子どもにかけられる願いがバラバラだと、子どもたちは先生方から声をかけられるたびに「いったいどうしろたいの」と戸惑いを感じてしまいます。

今私が考えているのは、次のような子どもの姿です。

先生や周囲の大人が決めてくれたことや、常識と言われることを忠実に守り、従い、自ら考えることなく生活しているばかりではなく、目の前の課題や問題意識に対して、想像を巡らしたり、誰かと考えをやり取りしたりしながら、自分なりに考え判断して、自分の意思で動いてみようとする子どもの姿です。一言でいうと「自律した児童（主体的に動こうとする児童）」ということになると思います。当然、1年生から6年生までを見てみると成長段階が大きく違います。一律に同じ姿を目指すことは子どもにとって大きな負担です。その学年の子どもなりの目指す姿があると思います。これから少しずつ、ご家庭にも学校の具体的な取組を伝えていかれたらと思っています。よろしくお願いいたします。

「なかよしカレー会」が9月に予定されています。実施の可否や方法について職員会の話題になりました。「6年生が中心に行う行事であるのだから、6年生はどうしたいのか、まず話し合ってみて下さい」とお願いしました。6年生ならば、どうやったら全校が楽しめるかちゃんと結論を出せようと思ったからです。そして、その方法もちゃんと工夫できようと思ったからです。6年生の皆さんは時間をかけて一生懸命に話し合いをしてくれました。私は6年生の思いを大切にしたいと思っています。そうすることが、子どもの自律した姿へ結びつくと思うからです。

6年生の話し合いの様子



～昇降口40分開錠にご理解ください～

30分から10分遅らせます

現在、昇降口は30分に開錠しています。40分までの10分間におよそ、50名の児童が登校してきます。朝のこの時間、職員もできるだけ教室で児童の様子を見守ったり、教室でお話をしたりしていますが、場合によっては、30分間以上、職員の目の届かないところで児童だけで過ごすような場合もあります。そこで、学校の都合で急なお願いをすることとなり大変恐縮ですが、来週の月曜日（29日）から昇降口を7:40に開錠させていただくこととしました。子どもたちの安全をできるだけ多くの職員の目で見守りたいと考えたからです。ご理解ご協力よろしくお願いします。

現在、熱中症対策等健康への配慮や家庭の事情により、お子様を車でお送りいただいている場合があります。この



ような場合は、引き続き、車で学校へ送っていただいてもよいわけですが、もし、10分間開錠が遅れることが、自分の足で頑張って登校するきっかけとなるようでしたら、頑張って歩いて登校できるように各ご家庭でお子様に声がけいただけたら幸いです。

開錠前に登校した児童用にベンチを用意しました。友達とおしゃべりしながら開錠を待てる場所になればと思います。

～読み聞かせが行われました～

ボランティアの皆様へ感謝です



今年度3回目の読み聞かせボランティアの方々による読み聞かせが行われました。今回はすべてのクラスにボランティアの方に入っていただき、読み聞かせをしていただきました。どのクラスでも子どもたちが食い入るように話に聞き入っていました。

地域に伝わるお話をして下さっている教室に顔を出しましたが、私も思わずお話の内容に引きつけられてそこに足を止めてしまいました。昔の人たちが、こうやって自分が暮らす場所を物語に登場させ、かけがえのない大切なところとして伝えようとした事実に触れると、自分たちが暮らしているこの地域が、単に生活の場所ということを超えて、自分の体と結びついた大切な場所、という感覚になりました。

読み聞かせの時間を、子どもはとても楽しみにしています。素敵な時間を提供して下さいありがとうございます。読書ボランティアの皆さんに心から感謝いたします。

～校地内で工事が始まりました～

一ヶ月間子どもには不便をかけます

下水管工事で、職員室と遊具の間が1ヶ月の間通行禁止になりました。同時に、遊具もこの期間は使うことができなくなりました。

西門を利用して登下校している児童は、ぐるっと大回りをして、体育館の前を通っての登下校となります。今朝「遠くなったな」とつぶやきながら昇降口へ入っていく児童がいました。また、「先生、今日はグラウンドでしか遊べないんだよ」と朝から寂しそうな表情の児童もいました。感染症防止期間で、体育館も自由に利用できないため、子どもたちには不便な思いをさせています。本当に申し訳ないと思います。工期は1ヶ月ということになっていますので、子どもにはそのことをお話して、しばらく辛抱してもらいます。



～学年の行事が待っています～

修学旅行に臨海学習が待っています

現在、休み明けの1週間を感染防止徹底期間として、活動のいくつかを制限しながら学校生活を送っています。来週からの通常の学校生活を児童が安心して送れることを願っての対応です。

保護者の皆様にお願ひがあります。9月に入りますと、5年生の臨海学習、続いて6年生の修学旅行が待っています。ぜひとも忘れられない素敵な思い出作りの機会にしてあげたいと思っています。中には、宿泊行事への不安を抱えながら参加する児童もいます。そういった児童も仲間とともに楽しい時間をぜひ過ごしてほしいと思っています。そのためにも、感染防止へのご協力をぜひともお願いします。行事前はもとより行事当日も、ご家族の中に体調の変化があった場合はオクレンジャーへの入力を必ずお願いします。また、何か心配なことがありましたら遠慮なく学校までご連絡ください。丁寧に相談にのらせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。